

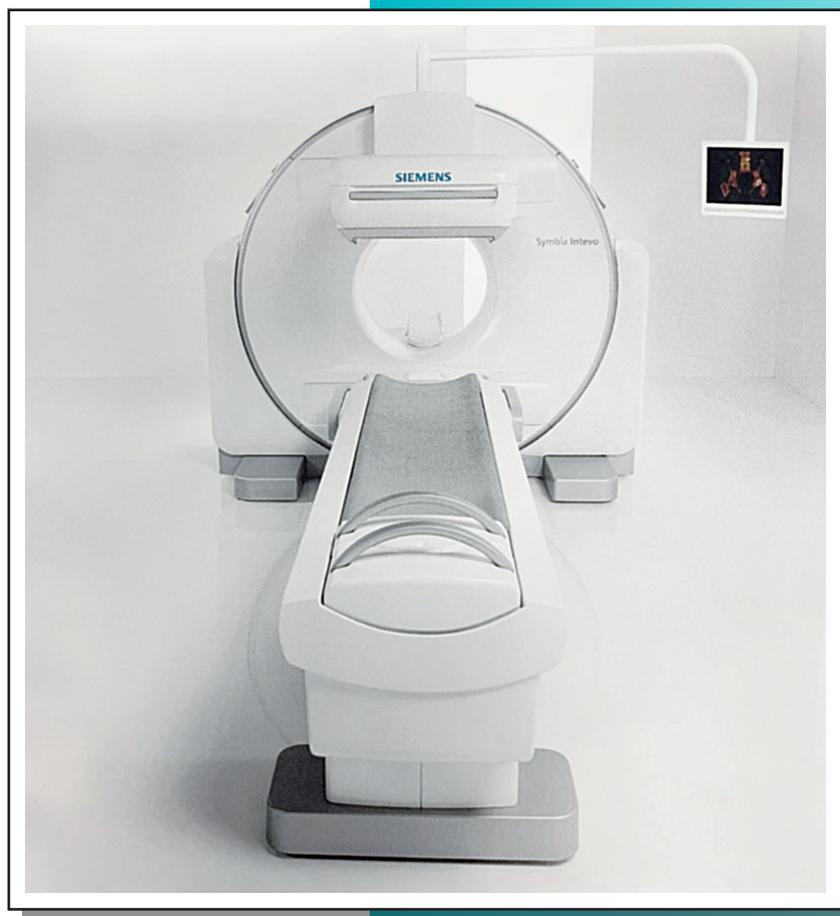
よねあし

発行日 ● 令和2年1月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No 87



中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望

私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。

患者さんに「安心」を

いかなるときも差別をなくし、人権とプライバシーを尊重します。

十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。

快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。

地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。

救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。

常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

あしたに「希望」を

医療と福祉の実践をとおして生きがいにみちた生活を支援します。

利用者と職員の希望をはぐむ職場づくりをすすめます。

和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集：核医学診断装置の更新



JA岐阜厚生連 中濃厚生病院

年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長 堀尾 茂之

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。令和2年の念頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

国は、少子高齢化の伸展による人口減少が深刻となる2040年を見据え、地域資源を活用しながら地域の実情にあった医療・介護の提供体制の整備が急務となっているとし、そのためには、「地域医療構想（2025年を見据えた医療提供体制）の実現に向けた取り組み」「医療従事者の働き方改革」「医師偏在の対策」を三位一体で進める必要があるとしています。

こうしたなか、地域医療構想の議論を進めるとして、令和元年9月、唐突に過去の一時期の診療データ等を基に、病床再編・病院統合の再検討が必要な医療機関として全国で424病院の公立・公的病院名が公表されました。全国各地域では病院の廃院に繋がるとして大きな反響となっているところです。本会では、東濃・岐北・西美濃厚生病院の3病院が対象となりましたが、既に3病院は地域医療構想の策定以前から、各地域で継続・安定的に医療提供ができる体制構築に向け関係機関等と病床再編や隣接病院との統合等について協議を進めており、既に一部病院では病床再編事業に着手している状況下にあります。

一方、医療現場では、医師確保や長時間労働の是正などが大きな課題となっています。岐阜県では医師確保に向けた地域医療確保計画が本年3月末までに策定される予定ですが、実効性のある計画が望まれているところです。本会は、医師を含めた他職種間等で「タスク・シフティング（業務の移管）／タスク・シェアリング（業務の共同化）」を推進する一環として、「看護師特定行為研修を修了した特定看護師の養成」「外国人技能実習生（介護分野）の受け入れ」など人的対策に取り組んできましたが、今後はAI等を活用した物的対策も検討していかねばなりません。

以上述べましたとおり、今後の医療情勢下における地域医療の経営環境は、今後ますます厳しくなることが予測されることから、地域医療提供体制の在り方について、本会としても県や地元行政等と協力し進めていきたいと考えています。また、地域に必要な医療を継続的かつ安定的に提供できるよう地域の中核病院として、「組合員並びに地域住民から信頼され、必要とされる病院づくり」を目指し役職員一丸となって取り組む所存です。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



病院長 鷹津久登

あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は当院の事業に格別のご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本年は東京オリンピック、パラリンピックが開催されますので、昨年のワールドカップラグビーにも増して、日本全国が盛り上がることと思います。まずはおめでたい年であってほしいと願うばかりです。

しかし、昨年は日本列島を台風が直撃し、ラグビーの試合も数試合がキャンセルされましたし、大勢の犠牲者があり、また洪水被害は甚大なものでありました。幸い岐阜県は直撃を免れましたが、いつ何時自然災害が襲ってくるかわかりません。地震、火山の噴火、台風や水害など予測不可能なものから、直前になればある程度予想されるものまで様々ですが、予めこれらに備えておくことが重要です。当院は災害拠点病院でもありますのでこの地域に災害が起きたときの病人や怪我人を受け入れる中核施設として稼働できる様にしなければなりません。そのため、昨年敷地内に井戸を掘削し、井戸水の利用が開始となりました。普段は上水を主に使っていますが、災害の際に断水が起こったときに、最低限の水の確保をするために整備した次第です。

また、災害に備えて毎年訓練や災害時の事業継続計画なども準備しています。しかし、あらゆる災害に万全に対応するのは難しく、今後も着実に準備を続けたいと存じます。皆様のご理解とご協力が得られます様、よろしく願い申し上げます。

当院はこれからも新たな取り組みを続けながら、中濃地域の皆様の健康維持と幅広い診療に貢献していきたいと考えています。今後とも中濃厚生病院をよろしく願い申し上げます。



核医学診断装置が更新されます

当院におきまして令和2年3月に、核医学診断装置が更新されます。診断用CTを搭載した最新鋭の(SIEMENS社製 Symbia Intevo)装置です。

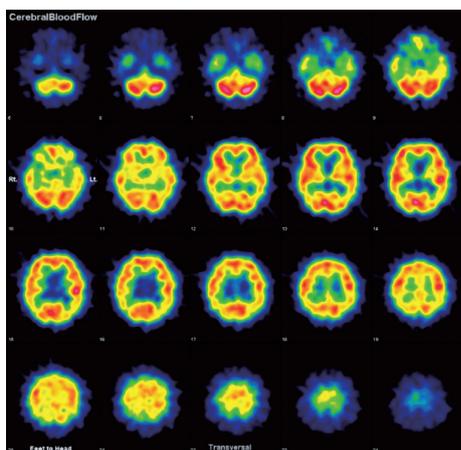


なかでも岐阜県初となる骨や悪性腫瘍への集積の程度を、数値化して診断するソフトウェアが搭載されており、核医学画像とCTとの融合画像(重ね合わせ)は基より、それぞれの相互情報を活用した新しい画像再構成により治療効果の判定に期待が寄せられています。

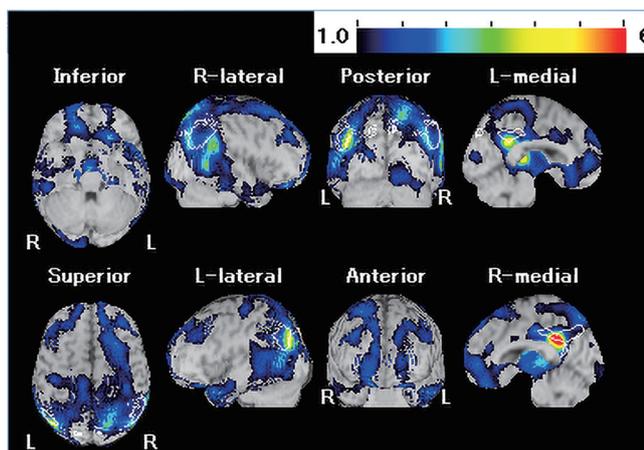
まだまだ、この検査をご存知ない方が多いと思いますので、ここで核医学検査の概要をご紹介します。

この検査は、自ら放射線を出すラジオアイソトープ(RI)という物質を用い、その放射線の量は時間と共に減少していく特殊な薬(放射性医薬品)を使用する検査です。病院によっては、核医学検査・ラジオアイソトープ検査と言われたり、その頭文字を取ったRI検査(当院)等と呼ばれていますが、どの名称も内容は全く同じものです。

次にどのような検査かと云いますと、X線写真やCTのように目的部位の形や大きさを画像から診断する形態のみならず、性質や代謝を画像から診断する機能を両方同時に診断できるのがこの検査の特徴です。人物像で例えるならば、**容姿**(X線写真・CT:形態診断)と**性格**(核医学:機能診断)と云えます。また、臓器によって薬の集まる時間が異なるため、注射後すぐに行える検査と時間をおいてからでないとできない検査があります。また、検査で受ける放射線の量は、胸や胃のX線検査・CT検査と同じ程度かそれ以下で、



アルツハイマー型認知症(初期)の脳血流画像



アルツハイマー型認知症(初期)の統計学的解析

その放射線も時間と共に少なくなり、体外にも排泄されますので身体への影響はありません。さらに、薬による副作用の心配もほとんどありません。

さて、ここでこの検査でどのようなことがわかるかと云いますと、

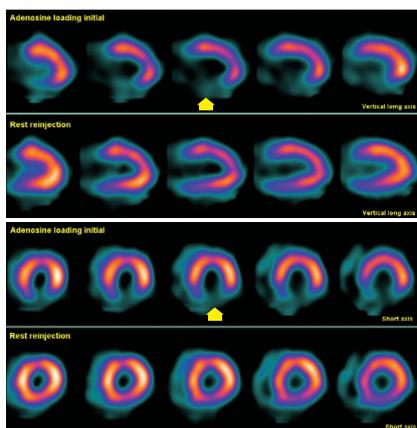
- ① 脳の血流を診ることで、脳の働きがわかります。たとえば脳虚血や梗塞、そして近年、話題のアルツハイマー型をはじめとした認知症などの脳の状態や治療の効果、予後予測にも有用です。
- ② 心筋梗塞や狭心症の診断、心筋障害の程度の評価、さらには心臓の働きから治療方針、予後予測や患者さんへの生活指導等にも役立ちます。
- ③ 甲状腺や副腎といったホルモンをつくる臓器の疾患が、容易に診断できます。
- ④ 肺の血流を診ることで、肺梗塞での血栓の部位や拡がり、程度および治療効果がわかります。また、気体の薬を吸入することで、気管支、肺などの疾患も同時に診断できます。
- ⑤ 腎臓での血液が濾過される状態や、尿として膀胱に排泄される様子から機能が容易にわかります。
- ⑥ 骨では、腫瘍の存在やがんの骨転移の様子も簡単にわかります。
- ⑦ 各臓器のがんの存在や転移の有無が検索できます。

このように RI 検査は、全身の多くの疾患に幅広く活用されています。

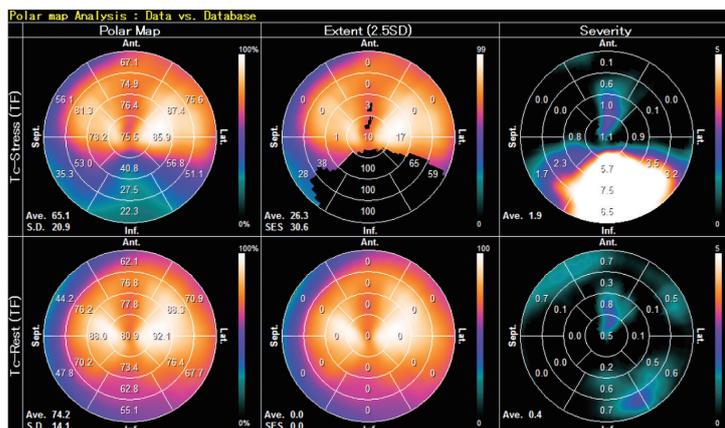
以上、手短にご紹介しましたが、当院では核医学専門医 2 名、核医学専門技師 1 名が常勤しています。この検査には、専門の知識と技術をもってあたっていますので、安心して受けていただけます。また、ご不明な点やご不安な点がありましたら、お気軽に何なりとお尋ねください。



転移性骨腫瘍



狭心症



狭心症の統計学的解析